

平成 28 年（2016 年）2 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1 日目）

平成 28 年 2 月 22 日（月）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	仲松寛 (新風会)  質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	観光行政について	(1) 那覇市観光基本計画について  ① 計画の概要と目標について伺う  ② 那覇ハーリー及び那覇大綱挽まつり、首里城祭の来場者数について伺う  ③ 海洋レジャー観光の状況と取り組みについて伺う  (2) 民泊について 観光庁は「民泊サービス」のあり方に関する検討会を進めている。民泊に対する考え方や課題について伺う  (3) 国際通りの活性化について  ① 「トランジットモール」の評価と効果について伺う  ② 観光バスの制限的駐車について伺う  (4) 本年開催される「第 6 回世界のウチナーンチュ大会」への取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長





順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	下地 敏男 (社社市民ネット)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 NAHAマラソンについて   2 情報サービス行政について   3 貧困対策について   4 本市臨時・非常勤職員待遇改善等について	<p>NAHAマラソンが日本陸連公認コースのマラソン大会になって今年で4年目に入る。現状は陸連登録ランナーと一般市民ランナーが混在している。ボランティアと観衆とランナーが一体となった27回続いたNAHAマラソン大会良さを再認識する時期にきている、公認をはずし、あらためて歴史のある世界一を誇った単独のNAHAマラソン大会に戻したらどうか見解を伺う</p> <p>緊急時の防災情報の提供や、平時においては、観光向けのインターネットの接続が容易にでき、利便性の向上があり、防災と観光に生かされるICTへの取り組みについて見解を伺う</p> <p>県内の子どもの貧困率が約30%になっている深刻な現状を克服する支援事業が、各自治体で進んでいる。低所得者の子育て保護者の病児・病後児保育にかかる経済支援も課題である。本市の取り組みの現状を伺う</p> <p>本市の業務の担い手として臨時・非常勤の果たす役割は大きいものがある。しかしその労働条件は厳しく早急に改善しなければならない。以下質問する</p> <p>(1) 当該職員が行使する休暇等で無給は何件あるか</p> <p>(2) 無給になっている休暇等の改善はすすんでいるか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 本市公立中学校の生徒の危険行為について	<p>平成 25 年 10 月 28 日、当該生徒が校舎 3 階屋上の縁に座り込む危険行為が発生した。これまでの経過（保護者の学校での相談記録が無い。保護者に対する威圧。謝罪の内容説明なし等）で保護者と学校と市教育委員会の認識に大きな隔たりがあり、保護者の学校及び教育委員会に対する強い不信と大変な怒りがある。以下質問する</p> <p>(1) 学校側の行った謝罪は不適切ではなかったか</p> <p>(2) 復学ができなかったことは学校側及び市教育委員会の責任ではないか</p> <p>(3) 教育委員会の学校に対する指導不足があるのではないか。</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>



順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 住宅困窮者に対して民間賃貸住宅を有効活用させようとする「民間住宅活用型住宅セーフティネット整備推進事業」がスタートして2年余りになるが、これまでの状況について</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>







順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 宇栄原南土地 地区画整備事 業計画につい て	<p>(1) 宇栄原南土地地区画整備事業は、いつ始まりいつまでに終了するのか伺う</p> <p>(2) 事業計画変更を何回したか伺う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	翁長大輔 (日本共産党)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	障がい者行政 について	(1) 障がい者の実態を問う  (2) 沖縄県障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例への見解を問う  (3) 沖縄県障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例で謳われている「差別相談員」及び仮称「差別相談員コーディネーター」の本市の配置状況と役割について問う  (4) 那覇市身体障害者福祉協議会より何度も要望が出ている、中核市にふさわしい那覇市障がい者福祉センター施設の建て替えについて問う  (5) 県庁、市役所、旭橋再開発地域をバリアフリー基本構想の重点整備地区に指定すべきではないかと要望がある。本市のバリアフリー基本構想の策定について問う  (6) 視覚障がい者IT支援ソフトの利用状況・課題を問う  (7) 土・日の市役所駐車場の障がい者減免制度(半額免除)について問う  (8) 重度心身障がい者医療費助成制度の拡充について問う
			<b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長



順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	前泊美紀 (無所属の会)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 レインボー行政について   2 市営住宅行政について   3 観光行政について	<p>伊賀市は、同性カップルを市長が公的に認める証明書にあたる「パートナーシップ宣誓書受領証」を4月から交付する</p> <p>本市では、同様な証明書交付について調査検討中とのことだが、進捗はどうなっているか。また、同性カップルのパートナーシップに関するその他の施策等、LGBT支援策についても問う</p> <p>本市では平成28年度から、市営住宅へ入居するひとり親世帯に、多子世帯と同じく期限付きの最優先入居を実施する。これに対し関係者からは、最優先入居には評価を示す一方、18歳の期限付きには「大学進学への選択肢が阻まれるのでは」などの不安の声がある。これは、多子世帯でも同様の事が言える</p> <p>優先入居の現状と市の対応を問う</p> <p>沖縄県では、観光における災害時等の危機管理に関する「沖縄県観光危機管理計画」を策定し、実行計画を策定中である。本市における観光危機管理はどうなっているか。対応を問う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>